

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

令和7年 7月 28日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
滋賀県甲賀市甲南町葛木30-20

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
西川ローズ株式会社 代表取締役社長 金谷昌和
(代理人)取締役 甲南事業所所長 大江良成

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、
[事業者行動計画を策定 (変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	西川ローズ株式会社 代表取締役社長 金谷昌和
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	滋賀県甲賀市甲南町葛木30-20

1 事業所の概要

事業所の名称	西川ローズ株式会社 甲南事業所								
事業所の所在地	滋賀県甲賀市甲南町葛木30-20								
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	1	1	5	7	※ 産業分類・細分類名称を記載 フェルト・不織布製造			
事業の概要	ニードルパンチ不織布製造(自動車内・外装材、産業資材)								
従業員の数	116	人	作業時間	24	時間/日				
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者							
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者							
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者							
主要な設備	ボイラ		台	熱源設備	3	台	照明設備		台
	コンプレッサ	9	台	空気調和設備	4	台	その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	R4	年度	報告対象年度	R6	年度
	終了年度	R8	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

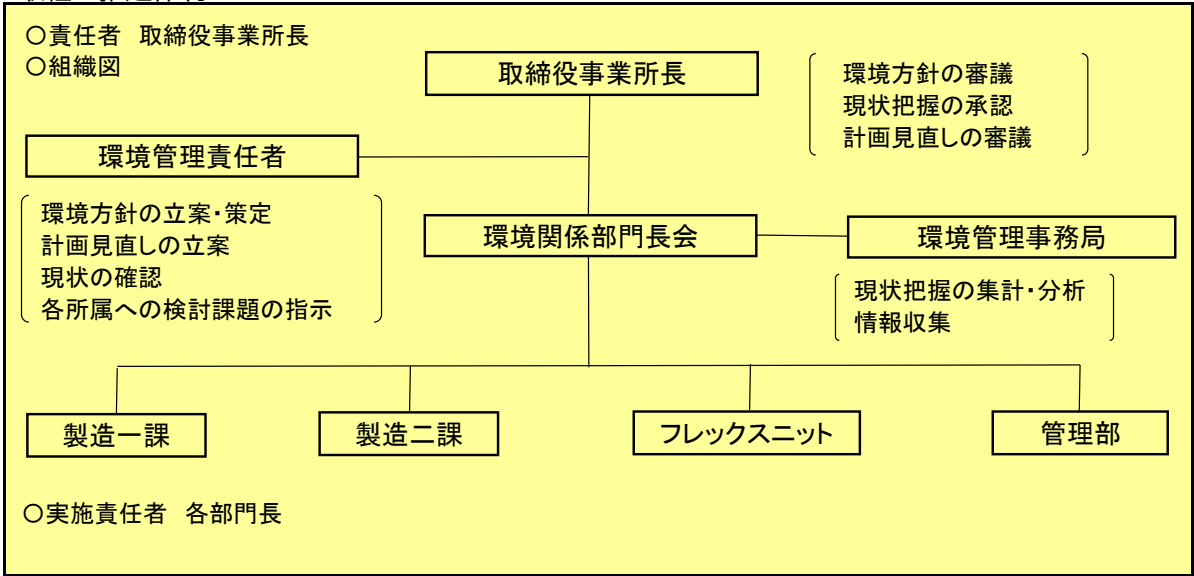
注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

環境問題が人々にとって重要な課題であることを認識し、この甲南の地で事業活動をおこなう西川ロース(株)甲南事業所は、以下の環境保全を行うことを誓います。

- ①生産活動が環境に与える影響を的確に捉え、環境目的・目標・プログラムを定め、環境システムの継続的な向上を図る。
- ②環境保全に関する法規制及び当社が同意するその他の要求事項を遵守し、環境汚染の予防に務める。
- ③収率の向上、製造工程の改善、並びに原材料等の有効利用に積極的、継続的に取り組み、廃棄物の発生率を減少する。
- ④省エネルギー活動を積極的に推進し、地球資源と地球環境の保全に務める。
- ⑤業務に使用する物品等はグリーン調達を推進し、環境負荷の低減に努める。
- ⑥環境内部監査員を定め、年間計画に基づき環境監査を実施し、環境課里の見直し及びシステムの維持向上に務める。
- ⑦環境保全に関する教育及びサイト内全ての従業員への環境方針の理解と環境に関する意識の向上を図る。また、協力会社に対しても理解を求める。
- ⑧本方針は文書化し、一般の人より要求があった場合いつでも提供できるようにし、地域社会の一員として地域環境保全との共生を目指します。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

取組項目	取組の内容	取組の実施状況
1 設備導入対策	パンチライン整備によるエネルギー効率改善	1/6ライン改修実施済み
2 設備導入対策	乾燥炉送風ファンのインバーター化によるエネルギー削減	1/3ライン実施
3 設備導入対策	照明設備を高効率化に順次改善	一部入替(100/900)
4 運用管理	コンプレッサ エア損失の改善	エア漏れ修理
5 運用管理	コンプレッサ低圧化	H28.8月実施
6 設備導入対策	変圧器入替による高効率化	700kVA分効率化

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	熱加工機ラインの更新	R6～R8	R7.4月設置 試運転中
2	設備導入	照明設備LEDを随時更新	R4～R8	1%
3				
4				
5				

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>上記(1)の取組等により令和3年度を基準年度とし、以下の数値目標を目指します。</p> <p>原単位 = $\frac{\text{温室効果ガス排出量}}{\text{生産量}}$ で毎年1%削減</p> <p>尚、原単位の考え方は次の通りです。 温室効果ガス排出量は、製品の生産量に大きく影響を受けるため、生産量を原単位の指標(分母)として設定しました。</p>	<p>生産量は前年対比96.8%。 温室効果ガス排出量は107.3%。 左弊社原単位計算では110.9%と目標に対して未達。 今年度(令和7年)4月より太陽後発で設備稼働により、電力金額は削減できるものの、同月に導入した高効率仕上げ加工機の稼働が来年度本格稼働のみ込みのため、今年度も目標達成は難しい。</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
原油換算エネルギー使用量	kL	1,613	1,594	1,559	1,714		
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	2,976	2,705	3,066	3,289		
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	2,976	2,705	3,066	3,289		
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	0	0	0	0		
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		62.531	61.774	64.521	66.443		

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	太陽光発電設備の導入	R7~R8	R7.3月設置、4月より稼働
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						